

## エピソード1 「子どもの通院付き添い時、急にパパが行くことになっても安心」

6歳になる娘は、持病持ちで毎日決まった薬を飲んでおり、いつもはママが病院に連れて行っている。ある日娘が急に発熱。いつも通っている病院を受診したが、その10日後にも再度発熱！いつも通っている病院は休診&ママが仕事のため、別の診療所にパパ（Aさん）が連れて行くことに。

「いつも何の薬を飲んでいますか？」「先日も発熱したということですが薬を飲んでいますか？」と医師に聞かれたけど、持病の病名は言っても、普段服用している薬剤名、先日の発熱時は薬を処方されたのかはわからない・・・！Aさん、ピンチか・・・！？



でも、安心。娘は普段「電子処方せん」を利用しており、今回訪れた診療所も電子処方せんに対応していたため、他の医療機関で直前に処方された薬であっても、医師に娘の服用している薬の情報を正確に確認してもらえました。飲み合わせの悪い薬が処方されることや同じ効き目の薬の飲み過ぎも防いでもらえました。Aさんもほっと胸を撫で下ろしました。

安心の子育ての一步は、電子処方せんからですね。

### 電子処方せんのメリットを解説！

これまで紙の処方せんでは、別の医療機関・薬局で処方・調剤されている薬の情報は、医師・歯科医師・薬剤師は、お薬手帳や患者さんの記憶をもと確認していました。一方、電子処方せんに対応した医療機関・薬局では、医師・薬剤師等が電子処方箋管理サービスというシステムに登録された、ご自身やご家族が服用している薬の情報をデータで確認できるようになります。お薬手帳を忘れてしまった場合でも曖昧な記憶に頼ることなく、服用している薬を医師等に伝えることができ安心です。